

笑顔あふれる高千小学校をみざして

校長 嶋見 靖之



今年度から高千小学校に勤務することになりました校長の嶋見靖之（しまみ やすゆき）です。出身は金井ですが、母の実家は千本です。ここで勤められることを本当にうれしく思っています。子ども達のために、高千・外海府地区のために、精一杯努めます。よろしくお願いたします。

4月6日の入学式では6名の新1年生を迎えました。今年度の高千小学校は、1、2年生が単式学級となり、3・4年複式学級、5・6年複式学級、はまなす学級、あわせて5学級、30名の学校です。

1学期始業式で、3年生から6年生の児童代表が「1学期のめあて」を発表しました。「なわとびの二重あや跳びができるようになりたい」、「帰ったらすぐに勉強したい」、「てれずにあいさつをしたい」などの発表に、前向きな思いを感じました。

子どもに限らず、めあてを書いたり誰かに話したりすること、いわゆる「有言実行」は勇気を伴います。その勇気は、めあてに向かい続けるエネルギーとなります。また、めあてを知った仲間や先生、おうちの人には応援するでしょう。この応援こそ、エネルギーを持続させる力です。最高の応援は、「認め」、「ほめて」、「励ます」ことです。

さて、今年度の高千小学校は、「笑顔あふれる高千小学校」を目指します。笑顔は自分に元気をもたらします。その笑顔を仲間や家族・地域の方に向けると、向けられた人も元気になります。笑顔は、これからの時代を生きる「自立と共生の力」になるのです。

高千小学校は、次の3つの笑顔を大事にします。

今ここにある笑顔	日常生活にある明るくさわやかな笑顔（＝あいさつ・返事）
生まれ出る笑顔	目標への挑戦、感動の体験、発見や出会い、など
わき上がる笑顔	教職員・保護者・地域の願い（＝子どもの成長と地域の活性化）の実現

考えてみると、人はいつも笑顔でいられるわけではありません。悲しいこと、つらいこと、切ないこと、気持ちがちずむこと、歯を食いしばること、不安なこと、など日常生活には様々な気持ちが伴います。時に、自信を失わせたり、孤独感をもたせたりもします。

けれど、人は本来、よりよく生きようとするエネルギーをもっています。苦しいこと・つらいことを乗り越えたときに生まれる笑顔を、周りの人が認め笑顔で返す。つらさを感じている人に共感し、寄り添い、笑顔で励ます。そのような子ども達であってほしい。そのような大人に子ども達は囲まれていてほしい。このような願いをもっています。



学校の基本は安全・安心、生命と人権の尊重です。保護者や地域の皆様とともに「笑顔あふれる高千小学校」を実現したいと思います。ご理解ご協力をいただけますようお願い申し上げます。